

# 2021年日本代表の紹介

LiteraMed **arc** are communications  Bright Compass

 **N** フライ **inov**  **SALMING.** no nonsense.

 公益社団法人 Japan Orienteering Association  
日本オリエンテーリング協会



**WOC** NOKIAN TYRES  
WORLD ORIENTEERING  
CHAMPIONSHIPS 2021  
DOKSY, CZECH REPUBLIC 3-9 JULY



# 尾崎 弘和選手

早稲田大学、麻布高校出身  
インカレロング2013年度優勝  
全日本ロング2015年、2017年優勝  
アジア選手権スプリント2018年優勝  
世界選手権 日本代表7回目

ジュニア時代から代表を経験、もともとフォレスト、スプリント両方に強いオールラウンダーとして活躍。2018年以降スプリントに特化、練習スタイルを変え豊富なトレーニング量で走力向上を図ってきた。今期は5000mトラックで15分20秒台に到達。世界と戦う走力を武器に、満を期して2005年山口以来の男子スプリント決勝を目指す。



写真

[http://runners.worldofphoto.com/bilder/large/hirokazuusaki\\_WOC2017SprintQ](http://runners.worldofphoto.com/bilder/large/hirokazuusaki_WOC2017SprintQ)

# 伊藤 樹選手

横浜国立大学出身  
インカレミドル2018年度優勝  
スプリント2016年度優勝  
全日本ロング2019年優勝、2020年2位  
全日本ミドル2020年2位  
世界選手権 日本代表2回目

日本の2枚エースの一人。大学4年時の全日本で優勝して以来、高いパフォーマンスを発揮する実力者。競技への取り組み方でも日本代表をリード、単独欧州遠征を行ったり、今年も先行して現地入りしている。今回はミドル、スプリント、リレーと走る予定だが、主にミドルに重点を置く。力強い走りでも現地のトレインでも手ごたえを感じている模様。



# 小牧 弘季選手

筑波大学出身

インカレロング2020年度、スプリント2019,20年度優勝

全日本ロング2020年、ミドル2020年優勝

世界選手権 日本代表2回目

昨年実力が急上昇。インカレ、全日本など主要タイトルを軒並み獲得した。伊藤選手とともに、今のオリエンテーリングを高いレベルで牽引する。スカイランニングでも上位成績を収めるなど、登りを含めたフィジカルな強さが魅力。加えて最近は安定したナビゲーションで、練習メニューでさえ誰にも負けない強さを発揮する。今回はロング含めフォレスト3種目に出場予定だが、特にミドルとリレーでのパフォーマンスに集中する。



# 谷川 友太選手

---

名古屋大学出身

インカレロング2009年度5位

全日本ミドル2015年優勝

アジア選手権2016年ミドル優勝

世界選手権 日本代表4回目

若い頃の実績は高くないが、大学卒業後に実力を重ねて2016年にはアジアチャンピオンにも輝いた大器晩成タイプ。チームの最年長選手となったが、合宿での練習量は随一、貪欲な姿でチームにポジティブな刺激を与える。今回はスプリント、ミドル、リレーを走る予定。





# 稲毛 日菜子選手

---

お茶の水大学出身

インカレロング2012,13,14年度優勝

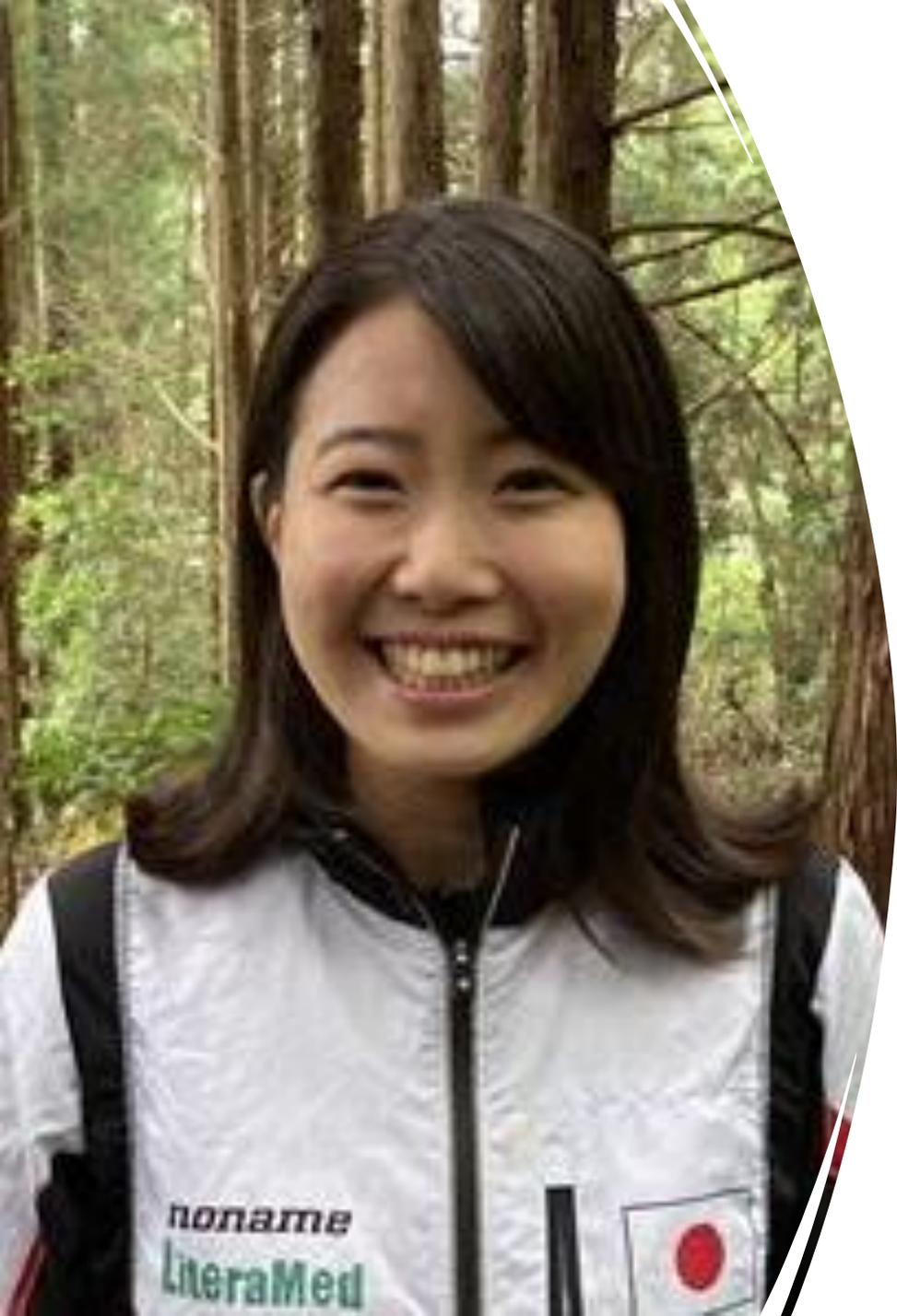
インカレミドル2012,14優勝

全日本ロング2017,18,19,20年優勝

全日本ミドル2014,17,20優勝

世界選手権 日本代表6回目

大学3年時のWOC2013フィンランドでミドル予選通過、日本だけではなく世界を驚かせた。小牧選手と同様にスカイランニングでも好成績を収めるフィジカルの強さが魅力。一時期競技を離れたが、再び日本の絶対エースに戻って今が第二次黄金期。今回はフォレスト3種目に集中。中でもロングに照準を合わせる。



# 山岸 夏希選手

---

筑波大学出身

インカレスプリント2015年3位、2016年ロング1位、2017年ミドル3位

ジュニア全日本ロング2013,15,16年優勝,ミドル2012年優勝  
世界選手権 日本代表3回目

2世選手として若い頃からオリエンテーリングに親しみ、ナビゲーションの長けた能力で、なんとジュニア時代のWOC2013年に初代表、日本での最年少WOC選手（OL年齢で17歳）となった。その後2018年含め今回は3回目の参加で、若い選手を引っ張る中核となった。ミドル、リレー、スプリントに出る予定だが、特にミドルに照準を合わせる。



# 阿部 悠選手

---

実践女子大学4年

インカレスプリント2020年2位

アジアユース選手権ミドル2019年優勝

大学2年時の北杜で開催されたアジアユースのミドルで台湾の選手を僅差で交わして優勝、3年時のインカレスプリントでも2位とグングン実力を上げてきた。今回は就職活動もある中での準備で遠征にこぎつけた。

今回はスプリント、スプリントリレー、ミドル、リレーを走る予定。

まだまだ発展途上の選手なので、チェコのトレインを体感して失敗を恐れずにチャレンジして欲しい。

# 松本 萌恵選手

---

神戸大学3年

3000m PB9:52 (陸上記録)

JOA公認姫木ミドル大会 W21A3位

オリエンテーリングを初めてから半分以上がコロナ禍という困難な状況を経験、それでも世界を目指して選考会を出走。特にスプリント競技でのフィジカルな強さに秘めた可能性が評価され代表入りした。

高校時代は陸上選手で、男子顔負けの実績と、競技へのひたむきな姿勢を武器として日々進化。

今回はスプリント系種目に特化。阿部選手とともに、今回のチェコでは思いっきり世界を体感して欲しい。



## 同行スタッフの皆さん

### 近藤 康満氏

東海高校、名古屋大学出身、NPOトータスで活動。大会運営の他、選手育成にも積極的に行っている。自身も、ジュニア時代にはJWOC出場経験あり。

### 村越 久子氏

長きに渡り、日本代表のJWOC, WOC, ASOCなどのスタッフとして活動。多くの日本代表の成長を見届けてきた日本チームの母です。

# 世界の選手紹介

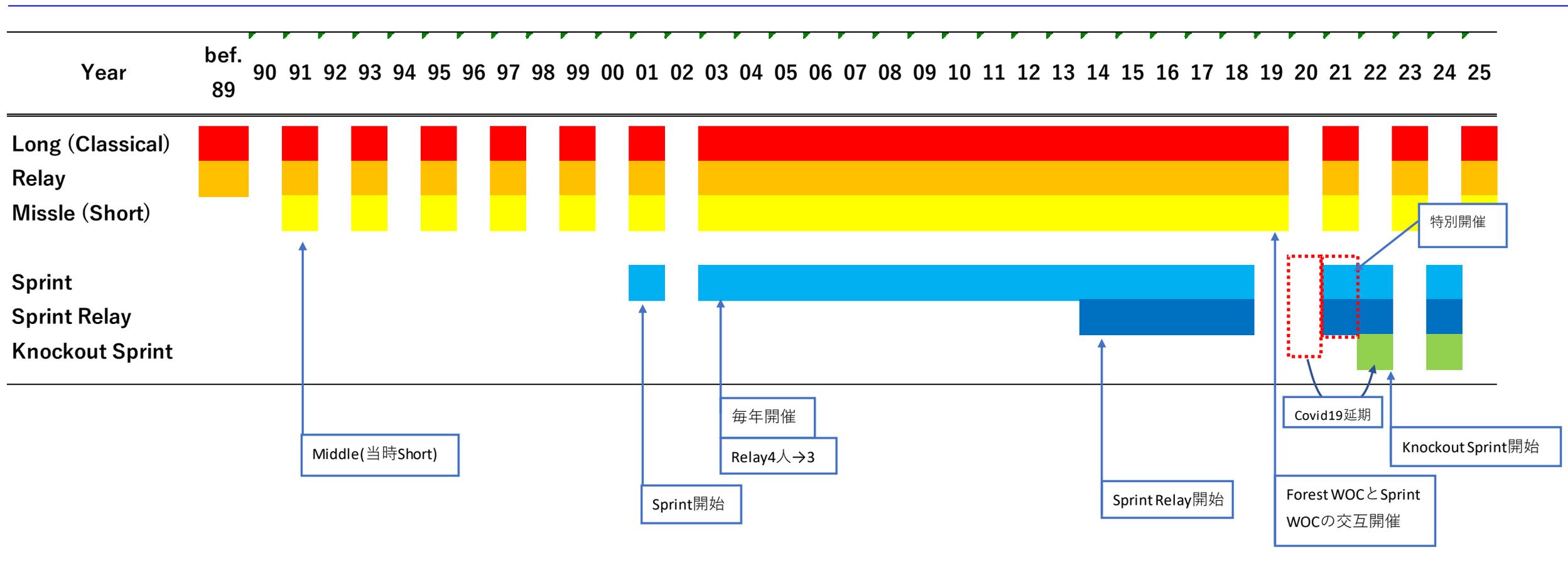
2年ぶりのフォレストWOC

3年ぶりのスプリントWOC

7年ぶりの大陸系テレインでの開催

13年ぶりのチェコでの開催

# WOCの競技種目の変遷





# Tove Alexandersson

## 究極のマルチアスリート

- ✓ トレイルランニング（現在世界ランク2位（ITRAポイント））
- ✓ スキーO（世界選手権10勝）
- ✓ スキーマウンテニアリング（現在世界ランク2位）
- ✓ オリエンテーリング（世界選手権10勝）

前回ノルウェーはフォレスト3冠（ミドル、リレー、ロング）、前々回スプリント準優勝

今年5月のEOC(ヨーロッパ選手権) スプリント、ノックアウトスプリント2冠

- ✓ フィニッシュ後のオールアウトは川内並み？

<http://runners.worldofdo.com/>



# Simona Aebersold

## 次世代の女王候補

- ✓ 父は91~95年のスイスリレー3連覇原動力となったChristian Aebersold
- ✓ Toveと同様にフォレスト、スプリント両方に強いオールラウンダー
- ✓ シニア1年目の19年世界選手権ミドルで、いきなりToveに次ぐ2位。リレー2走では、現女王のToveとデッドヒートの上、振り切ってトップで3走にタッチ。新女王の予感
- ✓ EOC2021ではノックアウトスプリント2位、スプリント3位いずれも僅差でToveの後塵を拝した。
- ✓ パワフルな走りのToveと対照的に、かつてのSimone Niggliにも似たエレガントな走り





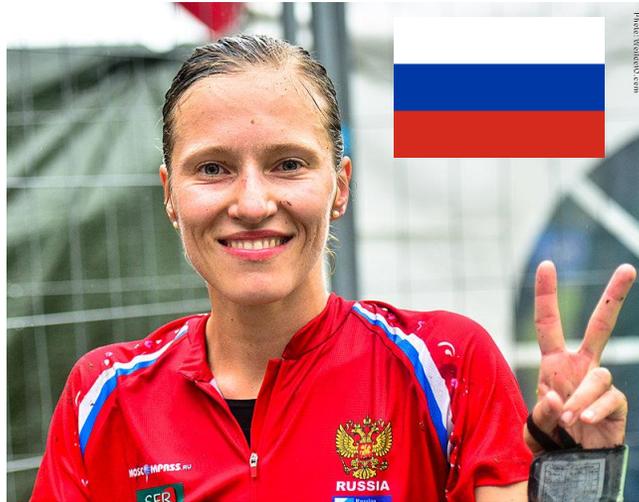
# Maja Alm

## スプリント4連覇の女王。3年ぶりの復活なるか？

- ✓ 5000m15分40秒、国内では陸上選手としても活躍
- ✓ スプリントでは特に後半の圧倒的なスピードで他を寄せ付けない強さ。2015年から2018年まで4連覇
- ✓ フォレスト種目も強く2018年はロングで準優勝
- ✓ WOC最後のスプリント2018年以来目立った成績なかったが、今年2月に「WOC2021はロングを目指す」とのコメント
- ✓ その後の情報なし。出場する場合はスプリント5連覇を狙う？フォレストの個人初優勝を狙うか？
- ✓ 滑るような上下動少ない走りに注目

<http://runners.worldofO.com/>

## その他の上位候補選手たち



### Natalia Gemperle

ロシアのエース。  
18年にミドルで優勝、スプリントからフォレストまで常に上位に来る選手。レース前後にカメラに向かっておどけるのがチャーミング



### Lina Strand

Toveのパートナーとしてリレーなどで活躍。個人でもメダルは十分に狙える選手

### Elena Roos

フォレストとスプリント両方走るが、スプリントに特に強い。小柄な身体をはずむようにして走る姿が印象的。5月のEOCでは優勝したToveに数秒差まで迫った。



### Karolin Ohlsoon

Linaと同様に、リレーでToveを支える。腕を振り抜く独特のフォームで力強く走る。個人もメダルは期待





# Olav Lundanes

## ロングの帝王、5連覇7勝目を成し遂げるか？

- ✓ この数年ロングで圧倒的な強さを見せるオラフ。2010年に初優勝してから10年間で6回優勝、ここ16-19年は4連続優勝。19年はミドルと2冠も達成、フォレスト特化選手
- ✓ 昨年から、目立った成績がなく、直前のチェコトレキャンでも同僚Kasperに大きくタイムで差を付けられている。
- ✓ 今年34歳、帝王が底力を見せるか、それとも新たなヒーローが生まれるか。
- ✓ 彼の走りは映像だけでなく音声に注目

## 前回2冠Olav Lundanesに挑戦する選手たち



**Gustav Bergman**

フォレスト、スプリント両方こなすオールラウンダー。リレーに強く勝負強い。安定したナビゲーションに強み。ポニーテールがトレードマーク。



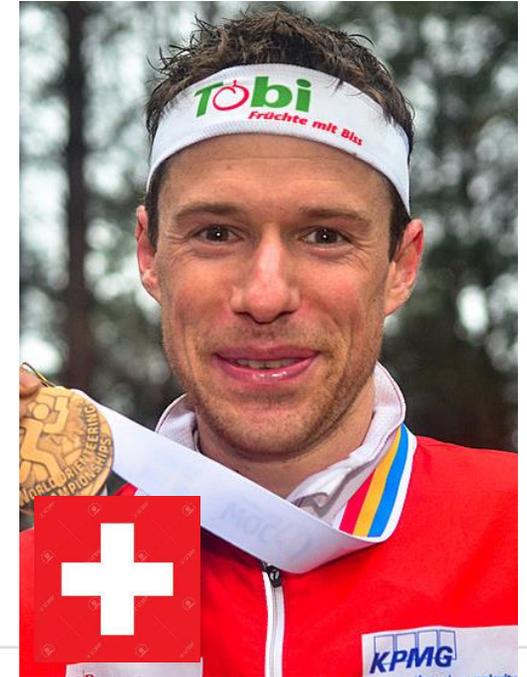
**Matthias Kybruz**

フィジカルに強い選手。ここ数年常に上位にくるオールラウンダー。スプリント、ミドルでは優勝経験あるが5年以上前、そろそろタイトル欲しい。



**Kasper Fosser**

祖父が世界王者。19年に20歳でロング2位に入って世界を驚かせた。3000mで8:06の走力を持ち、直前トレキャンでも好調。今一番の急上昇注目選手



**Daniel Hubmann**

2005年愛知も走った大ベテラン。現役ではOlav以外で唯一WOCロング優勝経験者(2008,2009) 38歳となるが、まだ十分実力は高い。

# Yannick Michael

## オリエンテーリング不毛の地ベルギーの星

- ✓ 5000m13分47秒の陸上選手並みの走力を持ち、スプリントに特化。長身の身体を活かしたダイナミックな走りが特徴
- ✓ スプリント競技では常に上位、WorldCupでは勝利経験あるものの、WOC,EOCなど主要タイトルは未冠
- ✓ 5月のEOCは2位で着実に安定した成績を上げてきている。

現在スプリントはベテランDaniel Hubmannの2連覇中だが、前回から3年。新チャンピオンは多くの選手にとってチャンスがある。



# Vojtech Kral

## 地元チェコの英雄になるか

- ✓ 旧チェコスロバキア時代から含めて4回目のWOC
- ✓ 1回目1972年は優勝者なし。2回目はショート（今のミドル）でアベック優勝で大いに盛り上がった。3回目もロングでDanaが優勝
- ✓ 今回女子では上位を狙える選手不在だが、男子はVojtech Kralが最もメダルに近い位置にいる。
- ✓ ベテランの域に入った33歳スプリントでの活躍に期待

